

# わんにゃん新聞

Vol.2

西川動物病院 (43) 0200

みなさん、こんにちわ。6月に入り、雨の日は、  
だんだん増えてきましたね。さて、今回は、  
「ノミダニ」がテーマです。そして、裏面では、  
「しつけ」を取りあげています



## ノミの繁殖シーズン



### 到来!!

梅雨から夏にかけては、ノミが卵→幼虫  
→さなぎ→成虫となる成長スピードが、12~14日と  
大変早まります。また、ノミの成虫が犬、猫にくっ  
ついてから卵を生むのは、わずか1日。知らない間に  
たくさんのノミ達と生活を共にすることになります。  
ノミが5匹いれば、ノミの子ども達は95匹も  
隠れているのです!



市販のノミダニスポット剤は、  
安いけれど、効果目がほとんどありません。  
お薬は 病院 においてある製品を  
使しましょう。

## 愛犬・愛猫が

### 苦しむ前に

当院では、ノミダニ予防薬として、ワンちゃんに  
フロントラインプラス猫ちゃんにレボリューション6%を  
おいています。

「お父さん、あの公園、面白そうワン。」  
楽しそうに散歩するボチ君、知らない間に、ダニを  
くっつけているかもしれませぬ。

「行ってきます」と一人散歩中のタマちゃん、「ここは、  
お昼寝に最適ニヤ」と、ノミ生息地で、たくさんの  
ノミと昼寝しているかもしれませぬ。

外出しないペット達も、人がノミダニを洋服に  
くっつけて帰宅したら大変です。あつという間に、  
ご家族全員が餌食となります。

1カ月に1回、首筋に液体をたらすだけ  
ノミダニから、愛犬・愛猫を  
守りましょう。

文責

看護師：加持



今回より「しつけコーナー」と  
 ANIMALトリビアを作りました。  
 うなみに、塚崎トレーナーは犬を1匹  
 私ほ、猫を4匹飼っています。

# ◆ ダニが運ぶ怖い病気 ◆

## ～バベシア症～

昨シーズン当院でも、2匹のワンちゃんが苦しみました。

「バベシア」という顕微鏡でしか見えない小さな虫が、ダニによってワンちゃんの体内に運ばれて、**赤血球**を壊す病気です。

症状は、**貧血** **食欲がない** **熱が出る** **体が黄色っぽい(皮フや白目の部分)**

などです。バベシア症は、治療をしても完全に「バベシア」を体から失くすことはできません。一度、体調が戻っても何かの拍子にまた**再発する恐れ**があります。

予防としては、なるべく山に連れて行かないこと、また1か月に1回フロントラインをつけることです。

このような、ノミやダニによる病気は猫ちゃんも含めまだまだたくさんあります。しっかり、ノミ・ダニ予防を行いましょう。



新コーナー

### 塚崎トレーナーの

## しつけの **い** **ろ** **は**

### ＜＜第1回：体を触れるようにしよう＞＞

ふか犬の時に、毎日全身を触りましょう。触られることに、なれていないと成犬になって触られる事を嫌がるようになります。

ポイントの場所は、**口の周り** **耳** **足先** **肉球** **しっぽ** **四肢の内側**などです。

触れるようになっていっていると、ブラッシング、歯みがき、爪きり、病院の診察、点眼・点耳・投薬などが苦にならずできるようになり、また体の異常にも気が付きやすくなります。



しつけ教室担当の  
塚崎 朋美です



ANIMAL  
トリビア

3~4kg 体重が、  
フラミンゴは  
しかなない

西川動物病院  
(43)-0200